

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、ブラジル経済の先行きに懸念が高まり、引けにかけてドル買いレアル売りが進行。3.09台後半で取引を終えた。公表されたブラジル4月経済活動指数が前月比0.84%減と市場予想を下回った他、6月IPCA-15も前年比8.80%を記録。景気低迷に加え、インフレ率の上昇が一段と加速していることが示されたため、ボベスパ株式指数(前日比0.9%安)を含めブラジル資産売りに拍車がかかった。進展の見えないギリシャ情勢も市場参加者のリスクセンチメントを悪化させている。救済資金供与に向けた18日の協議が決裂したこと、ギリシャのデフォルトとユーロ圏離脱に関して不透明感が一層高まっている。欧州中央銀行は19日に緊急電話会議を開催し、ギリシャの銀行向け緊急流動性支援(ELA)の上限引き上げを決定。17日にも11億ユーロの上限引き上げを行っていることから(上限枠は841億ユーロ)、今回の再引き上げはギリシャの銀行からの預金流出が加速していることを窺わせる。既存のギリシャ救済合意は6月30日で期限を迎えるため、ギリシャに残された時間は極めて限定期である。なお、本日22日は緊急会合が予定されている。

政府は、給与税(社会保障税)の減税規模の縮小を巡って議会と合意に達したことを明らかにした。Levy財務相はプライマリーバランス黒字を国内総生産(GDP)の1.1%に相当する663億レアル維持したい方針を示しているが、今回の措置により30億レアルの歳入増が期待される。大手格付機関は、ブラジルが投資適格を維持できるかどうかの判断材料として、特に予算目標の達成状況を注視している。

マーケットデータ

Indicator	Unit	6月18日	6月19日	前日比	5月19日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	40,19	39,60	-0,59	39,74	-0,14
USD / BRL Spot	BRL	3,0602	3,0978	+0,0376	3,0381	+0,0597
USD / JPY Spot	JPY	122,96	122,71	-0,25	120,69	+2,02
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	54.239	53.749	-490	55.499	-1.750
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	235,6	240,8	+5,2	227,2	+13,6
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,55	12,61	+0,06	12,54	+0,07
DI Future Jul16 (金利先物)	%	14,30	14,28	-0,02	13,83	+0,45
3 Months US Dollar Libor	%	0,281	0,281	+0,000	0,281	+0,000
CRB Index (国際商品指数)	Index	224,1	222,1	-2,0	226,2	-4,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



リアル円スポットチャート

